

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 23 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	収納率向上対策事業費			
担当課係名	税務課	納税係	作成者	草薨裕士
総合計画での位置づけ	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち		総合計画のページ 59
	基本計画	社会保障(国民健康保険、国民年金、公的扶助)の充実		
	主要施策	国保財政の健全化		
予算費目	国民健康保険特別会計	1款 総務費	2項 徴税费	1目 賦課徴收費
事業期間	平成 - 年度 ~ 平成 - 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	地方税法、仙北市国民健康保険税条例、仙北市市税条例ほか			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	仙北市民(市税課税者及び国民健康保険加入者)
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	収納体制の充実・強化により、収納率向上を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	徴収嘱託員(2名)を雇用し、市税分納者及び未納者に対し訪問徴収業務を行う。

【事務事業の推移】

項目		単位	23年度実績			
効果	活動指標	徴収嘱託員による分割納付者や未納者への訪問件数	目標	件	2,367	
			実績	件	2,367	
			達成度	%	100.0%	
	成果指標	徴収率 (国民健康保険税 現年課税分)	目標	%	92.00	
			実績	%	88.79	
			達成度	%	96.5%	
投下コスト	項目		総事業費	23年度決算額(千円)		
	事業費(人件費を除く)(A)			3,011		
	人件費(B)		—	8,479		
		職員数	—	1.00		
		職員平均人件費	—	8,479		
	(A)+(B) 投下コスト		—	11,490		
	財源内訳	国庫支出金			0	
		県支出金			0	
		地方債			0	
		その他			0	
		一般財源			11,490	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	4,854		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	386		

【事務事業の今までの成果】

徴収嘱託員による訪問徴収を実施。徴収嘱託員による徴収額は、14,026,756円長期未納者の滞納額の減少に繋がっている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	他の自治体においても、徴収嘱託員を雇用し滞納額の減少に努めている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	定期的な訪問徴収を希望している。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	戸別訪問による徴収により分割納付者及び長期未納者の納付改善に繋がっており、定期的な徴収嘱託員の訪問徴収は有効な手段である。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

--

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	税負担の公平性を図るため、徴収嘱託員による訪問徴収は必要であると考えられます。またこの事業により一定の徴収率を保っているため、今後は増員等の強化を検討をいれながら継続実施と考えます。

